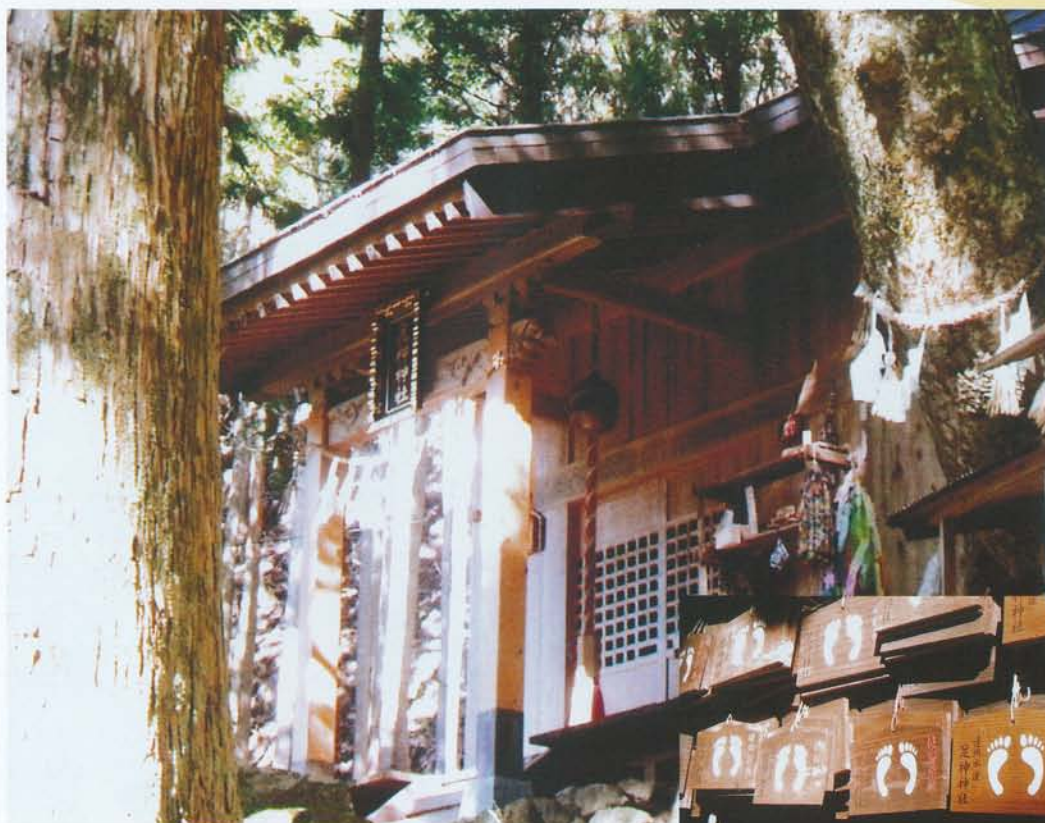


会報

平成18年1月10日

てんりゅう



あしがみ

足神神社 (浜松市水窪町奥領家地内)

およそ今から750年前に、北条時頼が痛めた足をこの地で治したと言われる神社である。

「足の神」と言われる神社は、全国的にも珍しく足の病や怪我を持つ人が訪れている。



会報てんりゅう 第84号

(社)天竜建設業協会 浜松市二俣町鹿島491-5 ☎<0539>26-1562
編集・発行 広報委員会 題字 秋山錠介 FAX<0539>25-6468
電子メールアドレス tenryu@aqua.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.tenkenkyo.net/>

年頭挨拶

社団法人天竜建設業協会

会長 秋山 鋭介



新しき年を会員の皆様方と共に無事迎えることができて、日頃の努力の賜と心よりお慶び申し上げます。

建設業を取り巻く環境は、益々厳しさを増してくる状態に見受けられます。

新年度に向かって予算編成などの様子を考えると、三位一体構造改革の推進により、新年度は、今年度と同じような3%、6%の緊縮予算のようであり、昨年同様の流れでピーク時に対して、30%、40%程度の受注高となるのではなからうか。

地方都市においては、ダンピングが横行しており60%、70%

の落札率。

本来利益を追求するのが企業であるにもかかわらず、利益を度外視して受注している。永久公共構造物を施工するものとして、これを暗に認めている発注者側、受注者側ともに問題があるのではなからうか。

昨年4月、国会において閣議決定された品確法が、いかにダンピングを喰い止めることが出来るか。

新しき年度においては、これが実施されるようですが、重大な局面を迎えることでしょう。

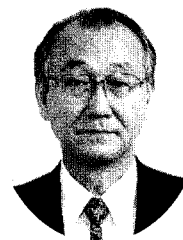
私達は、経営と技術に優れた企業が、生き残ることが出来る環境を造らなくてはなりません。

近い将来、東海地震や東南海地震が発生すると言われているが、その時点で、建設業界が腰砕けの状態では、第一線に立つて復旧・復興に従事出来ない。毅然とした態度で進む事を心に定め、努力していききたいと考えています。

皆様方と共に目的に向かって頑張ります。

静岡県北遠農林事務所

所長 山崎 巖



新年あけましておめでとうございませう。

新浜松市となつて6ヶ月、気持ち新たに最初の新年をお迎えしたと存じます。

農林事務所は「森林と県民の共生に関する条例」、「もりづくり県民税条例」の議決を受けて今年4月から体系的な「森林整備」を展開していくこととなります。

2006年は、北遠地域の再生元年ともいふべき年です。

自然環境とバランスが取れた優良政令市に向かって、会員各位決意新たに希望を持って邁進しようではありませんか。



山崎所長

※新春インタビュー※

・まずは趣味から教えてください
・家庭園芸ですね。30代の頃から苦勞した現場の「思い出」にと道の傍らに生えていた雑木の小苗を家に持ち帰りました。手入れをする度に現場を思い出し、何かにつけて心の糧としています。それから、草取り。無心になることがストレス解消になっています。

・実行している健康法は何かございませうか
・特に有りませんが、強いてあげるとすれば、家の玄関へ入ってから心の切り替えでしょうか。遅い帰宅でも、真っ先にすつ飛んで迎えてくれる愛犬(チワワ)とのジャレ合いが一日の疲れを癒してくれます。

・好きな言葉は？
・「公平・公正」と言う言葉を大事にしています。

・昨年の思い出は？
・新浜松市誕生のほか、県組織改正で「天竜総合庁舎管理」と「災害対策物質班」の業務が農林事業に付加、



聞き手 森下達登 (森下工業)
の総合活用
の展開」を
新たに提案
し、異分野
の融合を
図って新産
業の創設に
つながる発
展性を展望
したい。

・最後に政令指定都市に向かっての取り組みを聞かせてください
・森林や農産物の資源、優れた自然景観、豊富な歴史文化などに恵まれた当地区の特徴、存在意義、役割をどう発揮していくかが大切。農林行政は森林・林業の振興と山間地農業の振興はもちろんのこと、さらに「移住定住の促進強化」と健康をキーワードとした森林療法などの「森林

県農林水産業新世紀ビジョン(平成13(22)の第2次計画の見直しと着手などです。

・最近の関心事を教えてください

・北遠地区の人口減少、高齢化対策が最大の関心事です。森林クレジット、森林ファンドなど様々な提言もあります。これらを踏まえ、行政と地域が一体となって山の価値を高める努力が必要です

静岡県天竜土木事務所

所長 松山英達



新年あけましておめでとうございませう。

・浜松市との大合併から早や半年が過ぎましたが1年3ヵ月後には政令指定都市移行というさうに大きな出来事がひかえており、いろいろな面でこれから大きな変化が予想されます。新浜松市の中で北遠地域が如何にして輝いていくか、会員の方々の果たす役割も非常に大きいと思われまふ。皆様方の今後益々のご活躍を期待しております。

◆新春インタビュー◆

・まずは趣味から教えてください
・若い頃は、アマチュア無線や飛行機などのラジコンに夢中でしたが、今は家庭菜園に精を出しています。
・実行している健康法はありますか



インタビューに答える松山所長

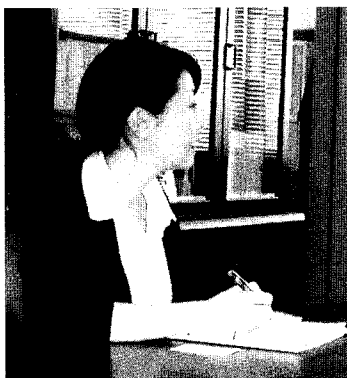
・ウォーキング。通勤時に自宅から遠州鉄道西鹿島線の遠州総合病院前駅までの約4キロを徒歩、買い物に行くにも原則として自らの足を使うことをモットーにしています。そして、少しばかりのアルコールを嗜む。
・好きな言葉は？
・今は「御蔭さまで」という言葉が好きです。寺の次男であるからか、仏教用語で相手の親切などに対して感謝の意を表す挨拶語。
・昨年の思い出は？
・3月まで静岡空港建設事務所にいたので、空港建設にかかわる「土地収用法の手続き」の準備に携わったことと、天竜土木事務所へ赴任して、新浜松市誕生に立ち会えたことで

すね。

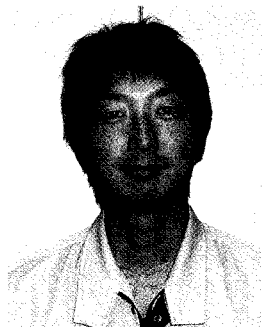
・最近の関心事を教えてください
・昨年合併により誕生した新・浜松市が平成19年の政令指定都市を目指していることから、天竜土木事務所が管理してきた国・県道を浜松市に権限委譲するにあたり、どのような引継ぎをすべきかが最大の関心事です。

・最後に政令指定都市に向かつての取り組みを聞かせてください

・合併支援重点道路設備事業の着実な推進を図り、浜松市との道路引継ぎでは県が担ってきた対策や役割・機能などをしっかりと説明していく。また、北遠地域が政令指定都市・浜松市の中で輝けるよう、地域づくり対策や今後の課題等についても理解を求めている。



聞き手 神谷佳代 (大城組)



天竜土木事務所 春野支所
足立 守篤

か
ん
と
く
さ
ん

今年の4月に人事異動で天竜土木事務所春野支所に配属となりました。県の職員となつてから4年となりますが、現場での仕事は地元と密着しており、また現場での条件によって臨機応変に対応しなければならぬこともあるため、日々やりがいをもって仕事に望んでいます。天竜土木事務所管内は山間部ということもあり、市街地での工事と違い現場条件に左右されることも多く、いろいろ勉強になります。特に現場での安全につ

いては、急斜面での作業も多いたためいろいろと考えさせられる面が多いです。春野町は、今年度市町村合併をし、平成19年度には政令指定都市となります。県管理道路については静岡県から浜松市へ移管することになります。土木工事を取り巻く環境が変化する時期となりますが、工事がスムーズに進捗し、よりよい地域づくりができるよう心がけていきたいと思っています。よろしく願います。

My Family

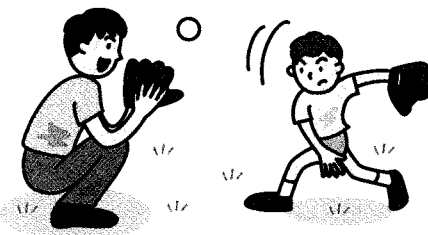
題 名

(株)道林建設
道林浩太郎



ぼくの家族は、5人家族です。ぼくは、3人きょうだいの末っ子です。
2人のお姉ちゃんは、中学2年生と3年生です。
ぼくの部屋が汚れていると、見るにみかねて時々片付けてくれます。帰ってきたぼくは、そんな部屋を見て「うわっ：きれいになってうれしい」と思います。
真ん中のお姉ちゃんは今、毎日テニスでがんばっています。
上のお姉ちゃんは、夏まではテニスをがんばってやっていたけど、今は受験勉強で大変みたいです。
そしてぼくは、今佐久間ジュニアバイソンというチームで、少年野球をやっています。最近、キャッ

チャーと外野の練習をしています。が、来年は、正キャッチャーになりたいです。
試合で、たまに長打を打つと『スカッ』として気持ちいいので、来年もたくさんホームランを打てるよう、練習をがんばります。



改正独禁法

18年1月4日から「独占禁止法（私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律）の一部を改正する法律」が施行される。

この改正独禁法は、
①課徴金算定率の引き上げ
②課徴金減免制度の導入
③犯則調査権限の導入
④審判手続きの見直し—の4本柱から成っている。

「課徴金算定率」は、企業は6%↓10%、中小企業（資本金3億円以下、常雇用者300人以下）は3%↓4%に引き上げる。

「課徴金減免制度」は、立入検査前の1番目の申請者は全額免除。同様に2番目の申請者は50%、3番目の申請者は30%それぞれ減額し、立入検査後の申請者も30%減額する。

さらに、悪質で重大な事案を刑事告発するため「犯則調査権限」を導入。





地域活性化 = 過疎化対策 =

(株)大城組 K.K

大きな市として誕生した新

浜松市の北遠地区ですが、『過

疎』『高齢化の進行』『地場産

業の衰退』など、抱える問題は

山積みしています。

今回は私達と同じような過

疎化が進む市や町が、挑戦し

た地域活性化を紹介して、少

しでも地域の方と『交流の場』

を広げていきたいと思います。

広島県三次市

三次市の上田町は、深刻な

過疎・高齢化を受け、都市の子

供達との交流に力を入れ始め

ました。

地域住民の協力を得て、直

接農家に宿泊して薪割りなど

昔ながらの生活を体験し、廃

校になった小学校を拠点に色々

な体験学習を行った実績が認

められ、平成15年度「トムソー

ヤスクール企画コンテスト」で文

部科学大臣奨励賞を受賞し

ました。

兵庫県温泉町

仕事を終えた後ビールを飲

みながらの雑談が、大イベント

のきっかけとなりました。

温泉街全体をエリアとして、

数百人で行う「仮想かくれん

人に話し掛ければ、自然に交

流が始まる。

町長がよくもこのようなイ

ベントを許可したかつて？

当日彼はバカ殿の仮装をし

て露天風呂に隠れ、開閉会式

を盛り上げたとか。

オレゴン州ベイズリー

300名余りの住民がいる

ちっぽけな町。この町は、全米

でも最も「蚊」がはびこってい

る所です。殺虫剤を散布する

トラックを買う予算さえ集め

られなかった住民は、「蚊」が襲

来する季節には町を閉じて山

の上に逃げるほどでした。

そこで、ベイズリーの解決策

とは何と…「蚊の祭り」を打

ち上げ、スターに変えてしまっ

ことでした。1980年代半

ばから、この祭りは何千人とい

う「蚊に噛まれることが好き

な人々」を集め、ミス蚊コンテ

ストやパレードまであるのです。

『こんなものあり？』とか『言っ

てしまった者が勝ち？』だなど

思われる、あの手この手の活動

が行われ、地域全体で楽しん

でいるなど感じます。

何とか北遠の存在を残し

ていきたいし、暮らしの中で楽

しい田舎を目指した活動に参

加出来ればと考えています。

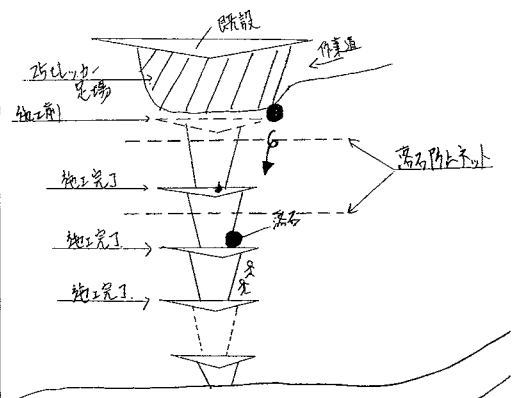
工事現場で起きた あなたのヒヤリ・ハット体験

事例と事故予防策

補強土壁工事

状況図

危険体験 の状況



事例

堰堤及び水路施工の治山工事で、雨天のために作業は中止したが、作業員2名が中腹で昨日に打設したコンクリートの養生状態を確認していたところ、レッカー据付ヤード附近下部より落石（70cm角位）の発生があり、上段、中段と設置してあった落石防止ネットを買き、点検していた作業員の3～4m上部の堰堤の際（ポケット部分）で止まった。一人の作業員が素早く察知し、もう一人も危険を知らせ退避することで、幸い災害に巻き込まれることなく無事であった

対策

- ①レッカー据付ヤード周囲及び作業場附近の浮石等の除去とその法面を防止ネットで覆った。
- ②作業開始前の点検で、安全確認を作業所長への報告を義務付けた。
- ③監視員を作業箇所別に配置した。
- ④降雨又は悪天候等で作業に不向きな状態にあるときは、休工とした。

姫様“珍”道中

～たつかわ産業祭～

今回、第20回を迎える「たつかわ産業祭」へ行って来ました。
以前「たつかわ山の幸物産展」は農業祭でしたが、竜川地区の商工業と農業の勤労感謝を集大成したお祭りへと：発展したものだそうです。
竜川観光産業振興会が主催で、地元自治会や消防団などが町の魅力の品々を並べ約18店舗が軒を連ね、天然鮎、椎茸をはじめ、自然薯、野菜、コンニャク、手作りの木工品など自慢の品々が集合する大即売市です。めずらしくて高価な野菜等が安く買えると来場者に大好評。猟友会提供の猪肉と農業委員会提供の野菜をふんだんに使った猪汁も大釜でぐつぐつ煮込まれていて良い香りが漂っていました。例年大盛況のフリーマーケットには食品・衣料品・家電製品なんでもありの大安売り！で、体育館入り口には、まだかまだかと開場を心待ちにしている人で長



蛇の列ができていました。
建設業からは、T建設のKさん。いつものかつちりスーツを脱ぎ捨て、自治会お揃いのユニフォーム姿で近所の奥様に混じって笑顔であんころ餅作りに貢献。そして産業祭では毎度お馴染みのF組のFさんはテントの片隅で、ご自分の釣り上げた鮎を1本1本、丁寧に愛しそうに焼いていました。
山の緑と竜川の青のコントラストが美しい竜川地区は、528世帯1700人余りの普段は静かな山間の町。この日ばかりは数千人が近隣の市・町から訪れ多くの人出で賑わっていました。たつかわ自慢の品々を目で楽しみ、味わい、そして竜川の人々の温かさに触れ、心豊かな一時を過ごせました。“また来年も来たいな”と思わせてくれる「たつかわ産業祭」！皆さんも是非次回足を運んでみてはいかがでしょうか？



水窪総合事務所

総務課

内山 睦子さん

7月に私の住んでいる水窪町は浜松市と合併し、あつという間に冬を迎えようとしています。入所して2年目になりますが、合併後はわからないことばかりで、また新人に戻ったような気分です。いつもあたふたしてばかりですが、職場の皆様、市民の皆様に助けてもらいながら充実した毎日を送っています。
最近では寒さも増してきました。私は寒がりなので、これからの季節はとても辛いです。ただ、寒くなると



星がとともきれいに見えるので嬉しいですね。私は学生の頃に静岡市で暮らしていましたが、静岡で見る星は数えられるほどしかありませんでした。ここでは毎日のように、たくさん星を見るのができます。
今見ている星が何という名前か、どれがどの星座なのか全くわかりませんが、ただただ星を見るのが好きです。こんなにたくさん星が見られる自然豊かな水窪で、いつまでも在り続けてほしいと考えています。

建設ギャラリー

平成16年度中山間総合(中山間・一般)龍山地区2工事

1. 施工箇所 磐田郡龍山村下平山地区
2. 工 期 平成16年10月1日～平成17年3月18日
3. 発 注 者 静岡県北遠農林事務所
4. 施 工 者 乗松建設(株)
5. 工事概要 農用地造成工 0.27ha
 基盤工 掘削 6.526m³ 盛土 6.842m³ 整形仕上げ 0.27ha
 法止工 石積工 381m²
 法面工 切土保護 3.910m² 盛土保護 415m²
 畑面工 0.34ha

本工事は、茶畑造成工事で土工事が主体であったため、工事の進捗が天候に大きく左右されました。

林道沿いの法止工においては、現場で発生した雑石を使用しましたが、大きさが様々であったので選定等到大変苦労しました。

事故もなく無事完成し、地元の方達に喜ばれたことは本当に良かったと思っています。

